

ポーランド政治クロノロジー(2011年4月)

月	内政	外交
4月	<p>1日 スヘティナ下院議長, 2012年予算のEU議長国就任前の採択を目指す旨発言。</p> <p>1日 下院, 薬物依存防止法の改正を採択。</p> <p>4日 カチンスキ「法と正義」(PiS)党首のシレジア人に関する発言に対し, シレジア自治運動(RAS)及び独系少数民族が批判。</p> <p>5日 政府, 財務省の2012年予算指針を承認。GDP成長率4%, インフレ率2.8%と見込み。</p> <p>6日 PiS, グラド国有財産相に対する不信任決議案を下院に提出。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領, 年金改革法案に署名。</p> <p>10日 政府専用機墜落事故1周年記念式典開催。</p> <p>10日 カチンスキ PiS 党首, 議会選挙キャンペーンを開始。</p> <p>11日 コモロフスキ大統領, 露との対話センター設置に関する法案に署名。</p> <p>12日 ヴォイチェフ・ノヴィツキ氏, 首相府副長官に任命。</p> <p>12日 政府専用機墜落事故の展示会「記憶と真実」(於:EU議会)の説明文がEU側により削除, PiS はこれを不当な検閲として抗議。</p> <p>13日 トムチキエヴィッチ「市民プラットフォーム」(PO)院内総務, 6月11日に議会選挙PO候補リストを承認すると発表。</p> <p>13日 中央統計局(GUS), 3月の物価上昇率を4.3%と公表。</p> <p>14日 全国ラジオ・テレビ評議会(KRRiT), ポーランドラジオ局幹部会メンバー任命。</p> <p>15日 KRRiT, ポーランドテレビ幹部会メンバー任命。</p> <p>16日 コルビン - ミッケ現実政策同盟(UPR)代表, 新右派決起集会開催。</p> <p>17日 ミハウォフスキ大統領府長官, 今秋の議会選挙投票期間が2日間になる可能性を示唆。</p>	<p>1日 ヘデゴー欧州委員会委員(気候変動担当), ポーランド訪問。</p> <p>1日 セレメト検事総長, パルルススキ軍首席検事等, 政府専用機墜落事故調査を10月10日まで延長すると発表。</p> <p>6日 ゴンズィ・マルタ首相及びボージ・マルタ副首相兼外相, ポーランド訪問。</p> <p>6日 クリフ国防相, ブルガリア訪問(-7日)。</p> <p>6日 露検察側より, 政府専用機墜落事故調査に関する文書14巻を受領。</p> <p>7日 パバンドレウ希首相, ポーランド訪問。</p> <p>7日 ポスピーシル・チェコ法相, ポーランド訪問(-8日)。</p> <p>7日 露検察局, カティンの森事件審理文書11巻を在露ポーランド大使館に手交。</p> <p>7日 コモロフスキ大統領, NATO 安全保障投資プログラムの改正法案に署名。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領, 第7回アライオロス・グループ大統領会合に出席(-9日, 於:ブダペスト)。</p> <p>8日 トゥスク首相, オーストリア訪問。</p> <p>8日 チェニユフ参謀総長, V4参謀総長会合に出席(-9日, 於:リプトフスキー・ミクラージュ)。</p> <p>11日 コモロフスキ大統領, メドヴェージェフ大統領と共に政府専用機墜落事故1周年記念及びカティンの森事件71周年記念式典に出席。</p> <p>11日 ミレル内相, マルタ経由のリビア避難民6名を受け入れる旨表明。</p> <p>11日 ミレル内相, ポーランド側事故調査委員会の報告書は5月又は6月に準備されるであろうと発言。</p> <p>12日 シコルスキ外相, EU外務理事会出席。</p> <p>12日 コニャノフスキ・マケドニア国防相, ポーランド訪問(-13日)。</p> <p>12日 ポーランド側事故調査委員会, 墜落した政府専用機と同型機による第1回試験飛行実施。</p> <p>13日 トゥスク首相, ウクライナ訪問。</p> <p>13日 シコルスキ外相, リビア連絡調整グループ会合出席(於:カタール)。</p> <p>13日 コモロフスキ大統領, アフガニスタン任務延長動議に署名。</p>

<p>18日 ザグルスキ保守国民党(SKL)党首、「ポーランドが最も重要」(PJN)との統合を目指していると発言。</p> <p>19日 下院,NIP(納税者証明番号)の廃止に関する法案につき議論。</p> <p>19日 PO,6月11日に選挙プログラムをグダンスクの党集会で発表すると発表。</p> <p>19日 パブラク副首相兼農民党(PSL)党首,今秋の議会選挙の投票期間は1日間にすべきとの見解を表明。</p> <p>19日 民主左翼連合(SLD),同性愛者,少数民族等に対する差別発言禁止法案を下院に提出。</p> <p>20日 コモロフスキ大統領,行政手続き簡素化法案に署名。</p> <p>21日 ワレサ元大統領,欧州連帯センター所長人事への不満から同センター評議会から身を引くことを発表。</p> <p>26日 SLD,政府の原発建設に関する国民投票の必要性を主張。</p> <p>16日 ワルシャワ地方裁判所,1981年,戒厳令に抗議するヴェイク炭坑労働者9名を治安部隊が殺害した事件で,キシュチャク内務相(当時)に対し無罪判決。</p> <p>27日 PO,同党選挙調整役にプロタシエヴィッチ欧州議員を指名。</p> <p>27日 KRRiT,ポーランドテレビ総裁にユリウシュ・ブラウン氏(元自由連合(UW)議員で,PO党员)を任命。</p> <p>28日 コモロフスキ大統領,国家安全保障評議会招集。原子力発電所建設計画につき議論。</p> <p>28日 下院,チェルノブイリ原発事故25周年に関する決議を採択。</p> <p>28日 下院,ロストフスキ財務相及びグラド国有財産相に対する不信任決議案を否決。</p> <p>29日 ガヴィン PO 議員,ポーランド EU 議長国就任前に憲法改正法案を提出する旨発言。</p>	<p>13日 ナチンツク・カナダ参謀総長ポーランド訪問(-14日)。</p> <p>14日 第15回ポーランド・独フォーラム開催(於ベルリン)。</p> <p>14日 クフィアトコフスキ法相,EU・米国法相会合に出席(-15日,於:ブダペスト)。</p> <p>14日 シコルスキ外相,NATO外相会合に参加(-15日,於:ベルリン)。</p> <p>14日 クリフ国防相,戦略防衛概観(2010-2011)を発表。</p> <p>15日 ポーランド側事故調査委員会,墜落した政府専用機と同型機による第2回の試験飛行実施。</p> <p>16日 露側検察官3名,ポーランド訪問(-30日)。</p> <p>17日 セレメト検事総長,モスクワ訪問(-19日)。</p> <p>18日 トゥスク首相,英国訪問。</p> <p>19日 コモロフスキ大統領,原子力サミットに出席(於:キエフ)。</p> <p>19日 「ポーランド・露対話と和解センター」関連法が発効。同センター,活動を開始。</p> <p>19日 ジェパ軍検事局報道官,現在のところ,政府専用機のクルーが圧力を受けていた証拠はないと発表。</p> <p>20日 クリフ国防相,アフガニスタン訪問(-21日)。</p> <p>20日 2009年10月にアフガニスタンでIED攻撃を受け長期入院中であったポーランド軍兵士1名死亡。</p> <p>21日 レヴィチン露運輸相,両国政府間経済委員会に出席(-22日,於:クラクフ)。</p> <p>21日 ブレーカー蘭農相,ポーランド訪問。</p> <p>22日 コモロフスキ大統領,米 MD システムのポーランド配備に関する協定への大統領の批准を認める法案に署名。</p> <p>26日 外務省,シリアにおけるデモ弾圧を非難する声明を発表。</p> <p>27日 クリフ国防相,スウェーデン訪問。</p> <p>27日 ベンクー・ハンガリー参謀総長,ポーランド訪問(-28日)。</p> <p>28日 外務省,リビアに対する人道支援の予算を150万ズロチ増額。</p> <p>28日 レトゲン独環境相,ポーランド訪問。</p> <p>28日 ワレサ元大統領,チュニジア訪問(-30日)。</p> <p>28日 ポーランド側事故調査委員会,墜落した政府専用機と同型機による第3回の試験飛行実施。</p> <p>29日 スロバキアのマッコ少将,ビドゴシチにある統合軍訓練センター(JFTC)の司令官に就任。</p> <p>30日 コモロフスキ大統領,イタリア,バチカン訪問(-2日)。</p>
---	--